

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学附属病院検査部では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 6月

福島県立医科大学附属病院検査部 志村 浩己

研究課題名

脊髄神経モニタリングを用いた脊椎・脊髄手術における術後予後に関する検討

研究期間

2024年6月 ~ 2029年6月

研究の目的・意義

脊髄神経モニタリングは脳や脊髄、末梢神経に障害を及ぼす危険性のある手術を安全に施行させるために開発された技術であり、当院でもほとんどの脊椎・脊髄手術で使用されています。この方法は、麻酔がかかった後に、頭に電極をつけて、手術中に電気刺激を行い、神経への障害があった場合に生じる手足の電気信号を読み取っています。手術中、神経にダメージがあった場合には、すぐに執刀医へ報告し、神経に無理のないよう安全な手術の進行に役立てています。最近の研究で、脊髄神経モニタリングは術後の神経機能の「障害」だけでなく、「回復」を予測できる可能性が報告されています。しかし、脊髄神経モニタリングのやり方や手術後の状態を判定する評価法が各施設で異なっており、脊髄神経モニタリングを用いた神経機能の回復を表す基準が定まっていないのが現状です。そこで本研究ではより信頼性の高い脊髄神経モニタリングの確立と、その方法を用いて神経機能の回復を表す基準を明確にすることを研究の目的としています。

研究対象となる方

2020年4月から2028年3月の期間に、本学附属病院で脊髄神経モニタリングを用いた手術をされた18歳以上の方が対象です。

研究の方法

対象となる方の術中の脊髄神経モニタリングの波形の変化が、術後の治療効果にどのような影

響を及ぼすかについて、先行研究である「胸腰椎の治療に関する臨床研究(研究番号:2939)」で得られた術前、術後の経過観察時に評価している各種項目(医師による評価、患者さん自身による自記式質問票による評価)のデータを用いて検討します。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年7月1日

研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学附属病院検査部であり、研究責任者は福島県立医科大学附属病院検査部 志村浩己です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学附属病院検査部で利用し解析を行います。

他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学附属病院検査部 担当：鈴木 崇斗

電話：024-547-1469 FAX：024-547-1477

e-mail：tm1451@fmu.ac.jp